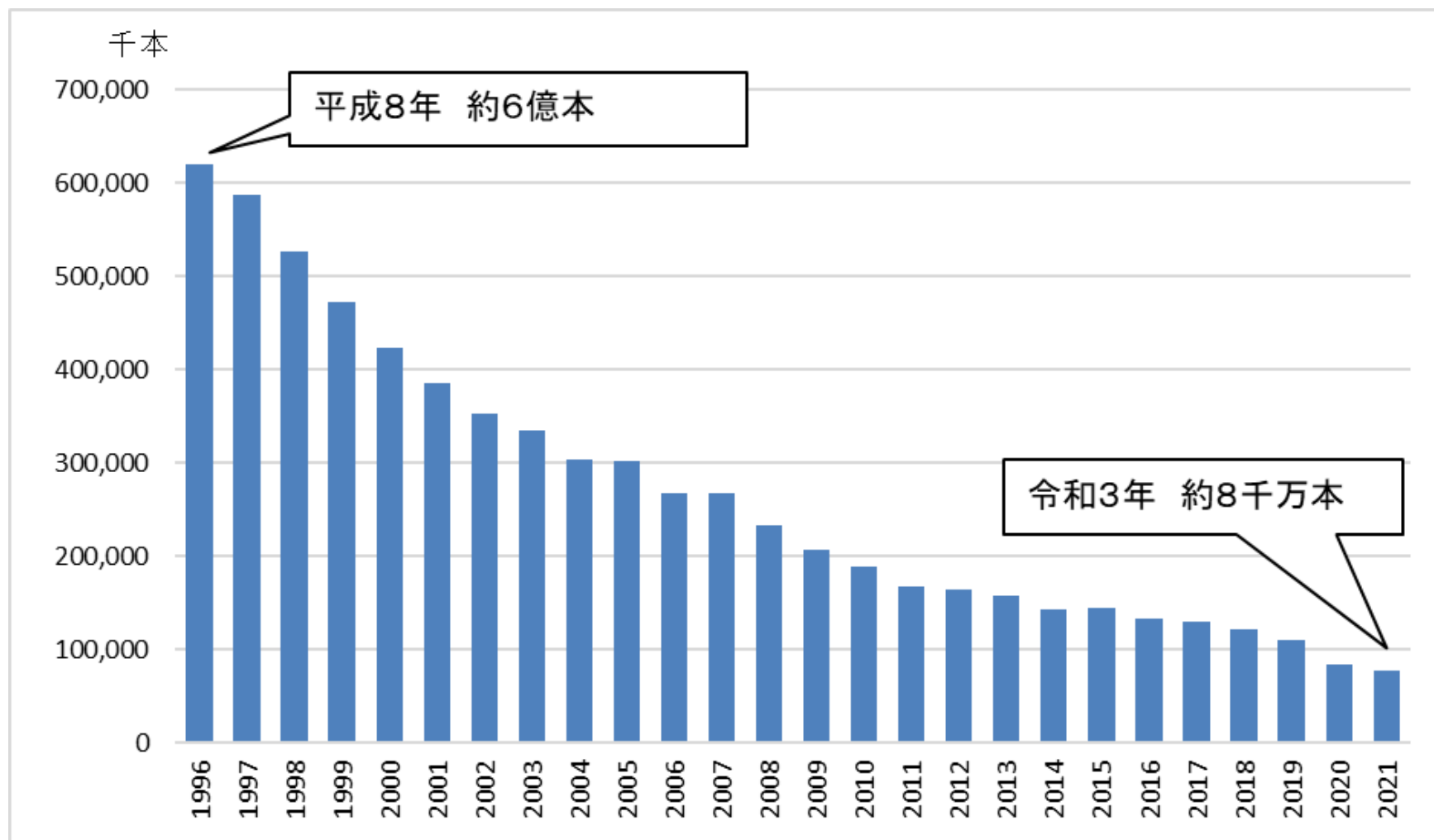


一升びんの現状と課題

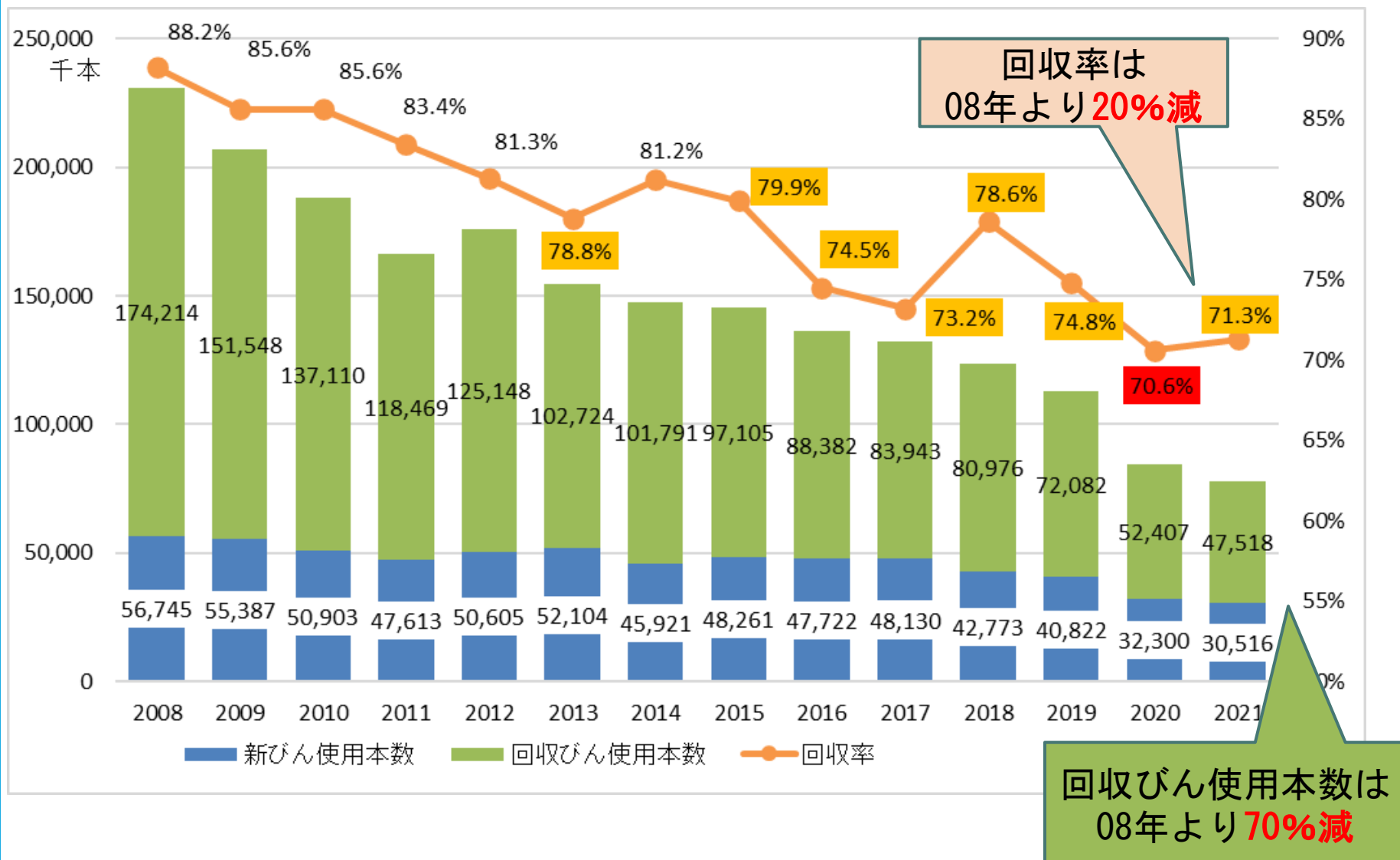
日本酒造組合中央会

1. 一升びんの出荷量



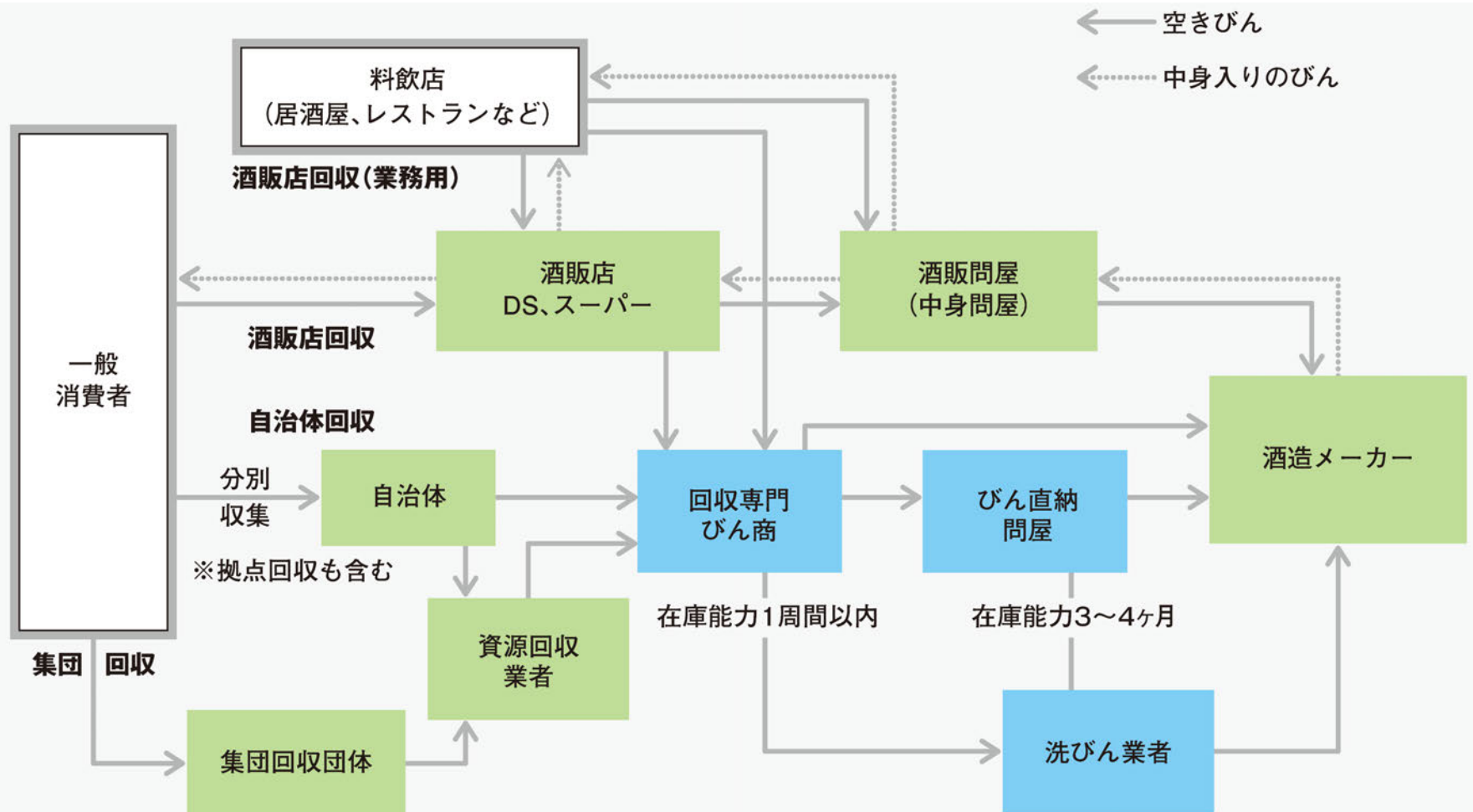
ガラスびん3R促進協議会「リターナブルびんポータルサイト」より

2. 一升びんの回収量の推移



ガラスびん3R促進協議会「リターナブルびんポータルサイト」より

3. 一升びんの流れ



4. 一升びんに関わる主体の各役割

●消費者

拠点回収・店頭回収への持ち込み
集団回収の利用
リユースびんの積極的な使用

●びん商

リユースびんの回収・洗浄・供給

●酒造メーカー

リユースびんの利用・P箱での出荷
リユースしやすいびん・ラベルの扱い
消費者への普及啓発
自社での回収

●飲食店(居酒屋、レストラン等)

リユースびんの積極的な使用

●酒販店・小売店(スーパー、コンビニ等)

店頭回収
消費者への普及啓発

●P箱レンタル事業者

P箱の適正管理(不足箇所の対応)

●地方自治体

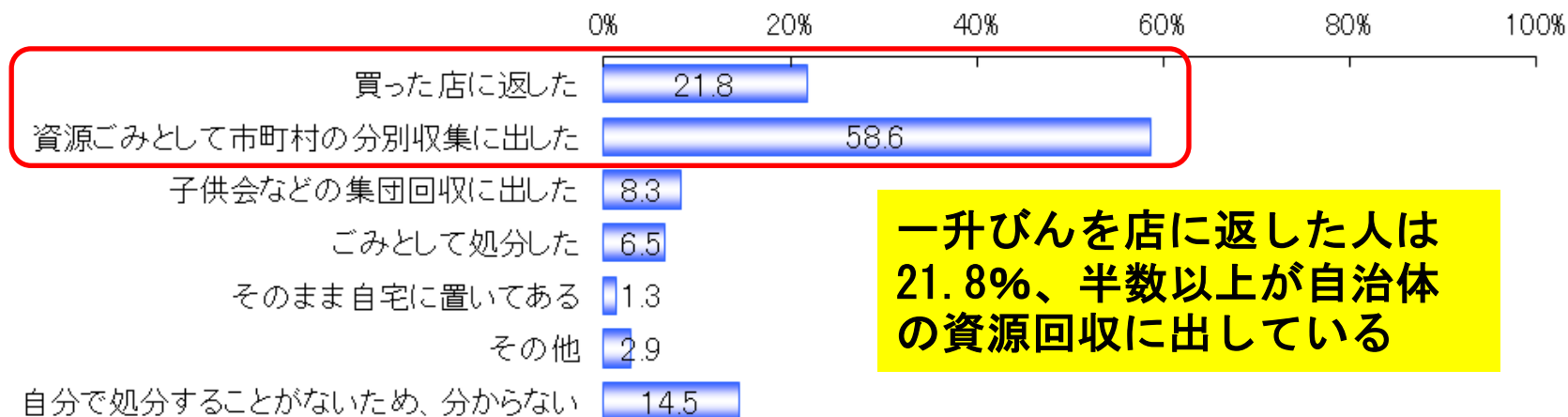
消費者への普及啓発
拠点回収・店頭回収の周知
リユースびんの適切な回収・分別収集
集団回収等への奨励金制度

●国

消費者への普及啓発
補助金制度、規制等

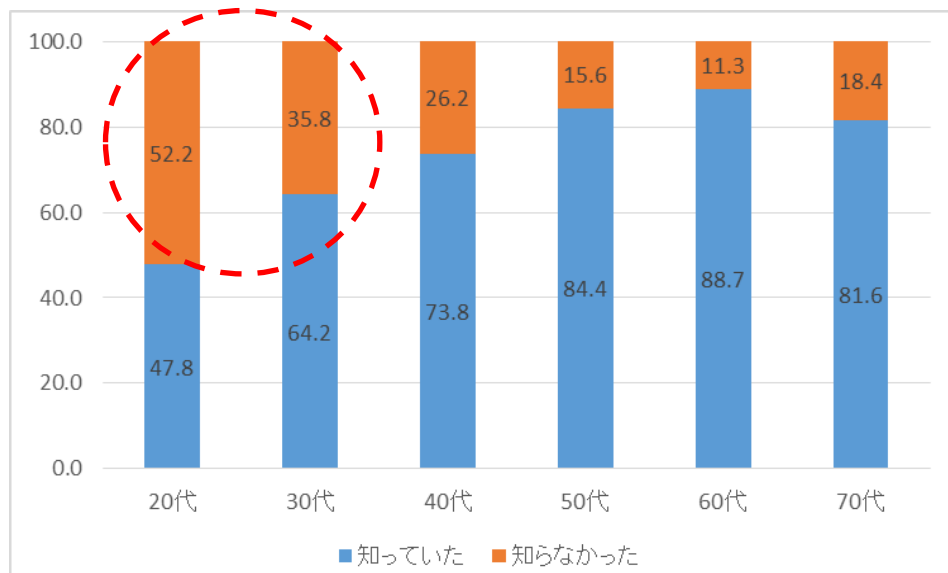
4. 課題

(1) 消費者の一升びんの処分方法



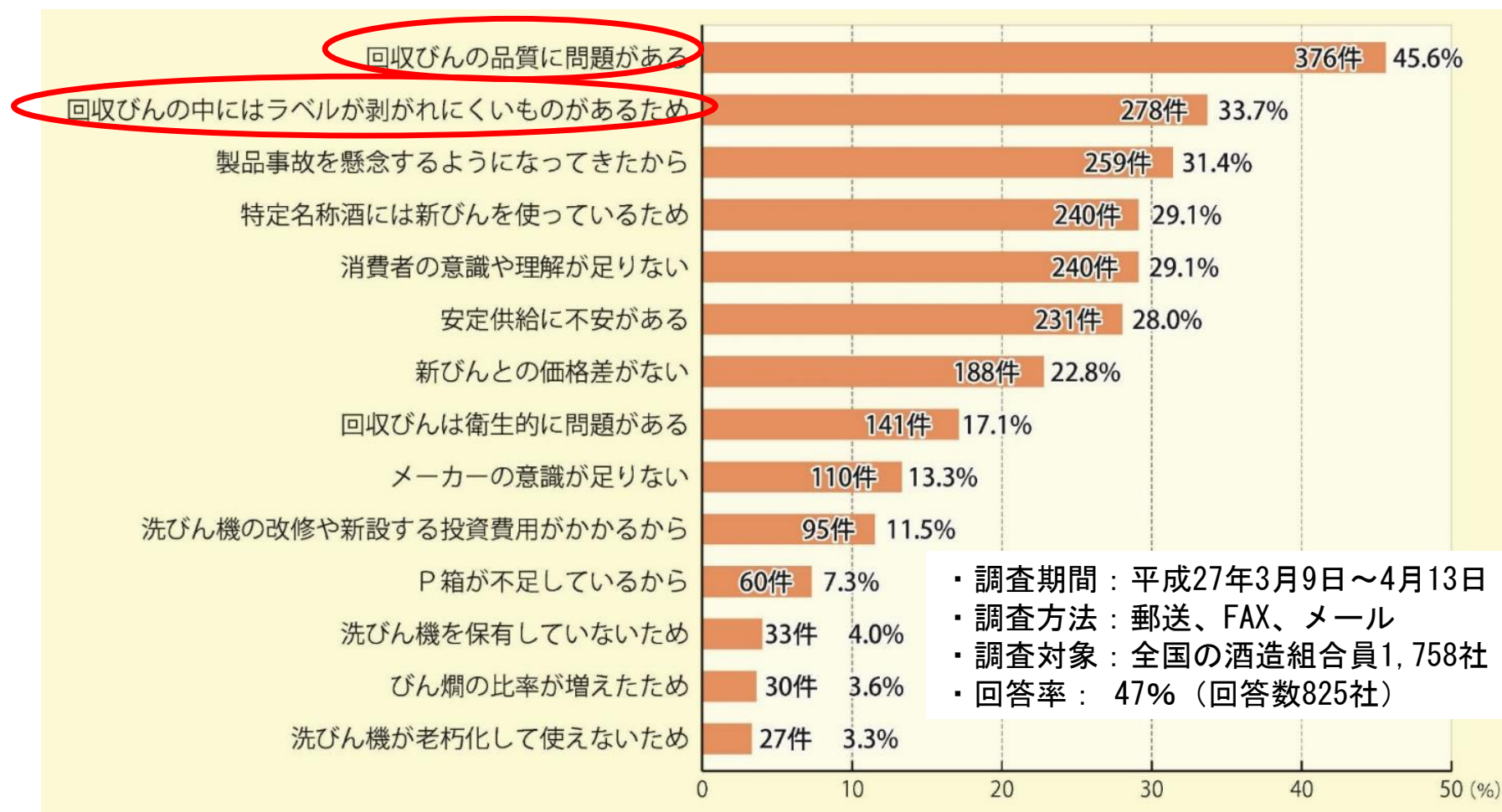
一升びんを店に返した人は
21.8%、半数以上が自治体の
資源回収に出している

(2) 消費者の一升びんリユースに関する認知度低下



インターネットアンケート
調査実施期間 平成27年3月
スクリーニング10,000件 (20歳以上
で1年以内に日本酒、焼酎を購入して
飲んだ)
本調査 (回答数) 1,000件

(3) 回収びんに対する品質要求の高まり



(4) 再使用しにくい一升びんの増加

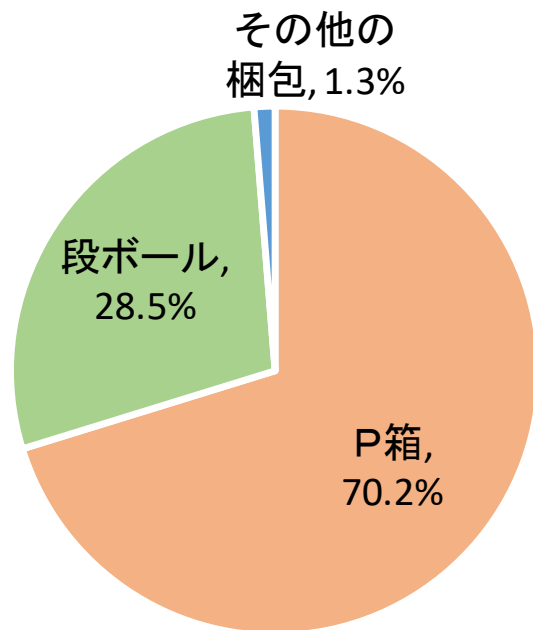
青びんなど元々需要
が少ないびん

フロスト加工＝すりガ
ラスに加工したびん



出典：きょうされん リサイクル洗びんセンターHP

(5) P箱の不足



P箱とダンボールの使用割合



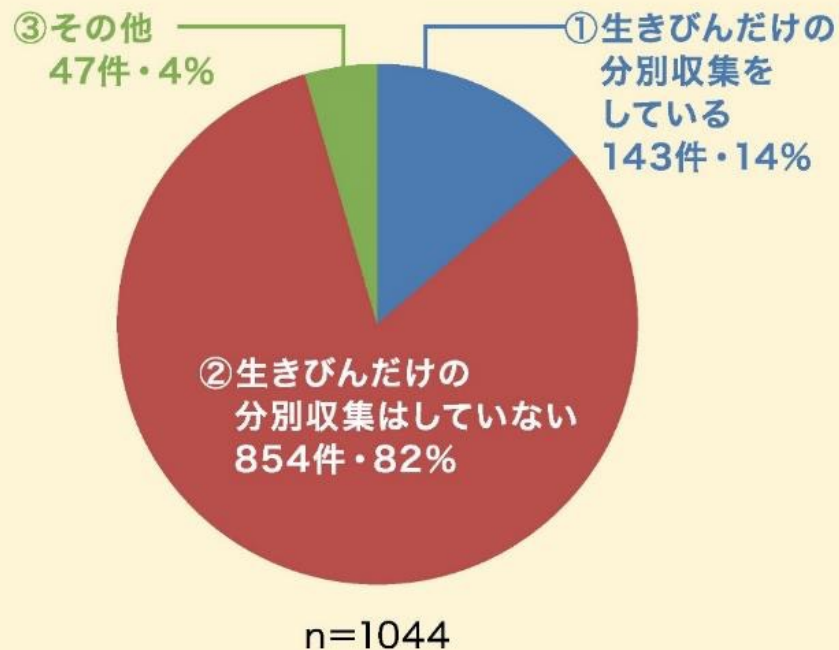
段ボール出荷の増加



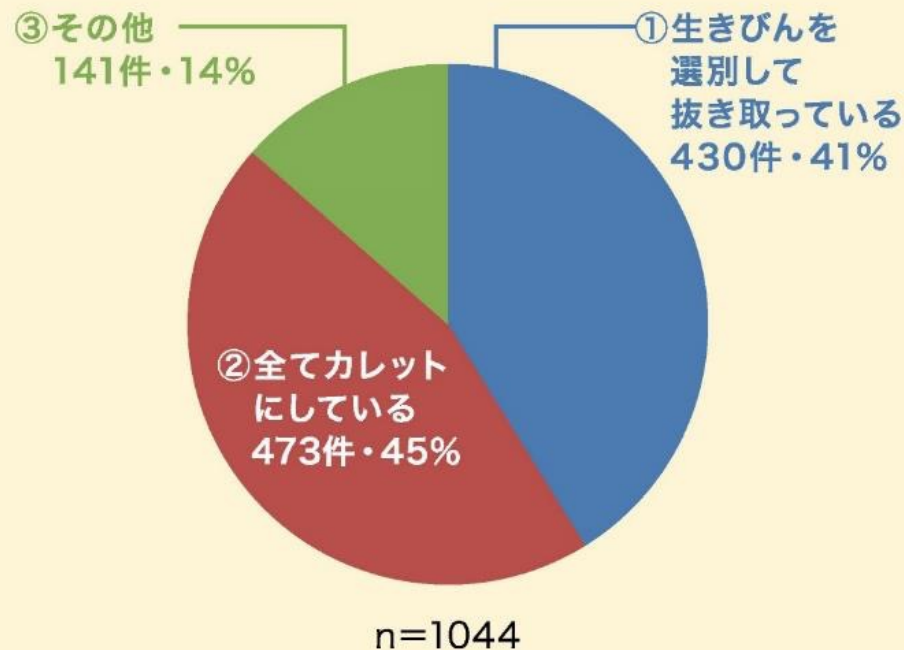
他用途に利用される

(6) 自治体のびん回収・選別状況

生びん(リターナブルびん)の分別収集の有無



生びん選別の有無



アンケート

- ・ 調査期間：平成27年12月7日～平成28年1月31日
- ・ 調査対象：全国の自治体1,741団体
- ・ 回答率：60%（回答数1,044社）

5. 課題のまとめ

■ 酒販店経由での空きびん回収の減少

- ・ 消費者のどこにびんを返したらよいかわからない。
- ・ 空きびんを回収している自治体は約半数程度

■ 消費者のリユースびんの認知度の低下

- ・ 特に若い世代では半数以上が一升びんがリユースびんだということを知らない

■ 回収びんに対する品質要求の高まり

- ・ 消費者の認知度低下により、少しのスレ跡でも問題にされたり、製品事故を懸念

■ 再使用しにくい一升びんの増加

- ・ 色の付いたびん、フロストびん、剥がれにくいラベルの問題

■ P箱の不足

- ・ P箱の不足、ダンボール出荷の増加、びんの流通以外で使用されている問題

スレ跡の種類

回収びん の品質

各メーカー、検査機や目視で入念に検査を行っており、不良率は数%です。
糊跡はびんが乾いた状態にないとわからないものもあり、洗びん時には見つけにくくなっています。また、びんの欠けや、長期間放置されることでできるロサビも問題となっています。

以下の写真のようなびんはカレットになっています。

スレ跡



欠け



濡れた状態の糊跡



乾いた状態の糊跡



口欠け



ロサビ



コスレ傷にも
2種類あります

コスレ傷 A

コンタクトポイント傷:スカフィ(避けられない傷)

6P函仕切りとの接触(輸送中)



約20 c m

約16.5 c m

壺同士の接触(吹製中、充填中、陳列中)



使用回数を重ねるほど
徐々に増えていく。

回収壺の勲章

(何回もリユースされ
ている証)

約16.5 c m

約2.5 c m

コスレ傷 B

壺同士の不規則なぶつかり傷、擦れ傷

最近増えてきた不良

壺同士が激しく
ぶつかったり、
擦れたため？

スカフィが無くても、
1回の使用でも、
不良壺になってしまう・・・



過去開催したステークホルダー会議

平成28年度-仙台、東京 実地開催

平成29年度-大阪、東京 実地開催

令和2年度-全国 オンライン開催

令和3年度-北海道、九州、全国（セミナー） オンライン開催

令和4年度-広島 オンライン開催

R3年度報告のあった取組の進捗状況

1. 男山（旭川市）の取組

2. 二階堂酒造と長松商店、日出町の取組

1.男山の取組内容

みんなのマイボトル メンバー制度（2021年7月6日開始）

- 1本1ポイント（道内の酒蔵商品は2ポイント）、合計36ポイントで男山の商品 **四合びんと交換**する仕組みで、男山酒造り資料館で回収。
- 対象の回収びんは**720mL の茶びんと緑びん**(Rマーク)、**1.8L びんの茶びんと緑びん**(丸正マーク)。リユースできない状態のびん、傷やさびがあるものは対象外。
- **地域の人**が対象でCO2 排出の観点から遠方からの引き取りは考えていない。

男山の一升瓶は90%が回収瓶

一升瓶は、もともとみんなのマイボトル。
私たちはこの資源循環の仕組みを継続
していきたいと考え、「みんなのマイボ
トル メンバー制度」を開始しました。



対象の回収瓶：

720ml の茶瓶と緑瓶（R マーク）

1.8L の茶瓶と緑瓶（丸正マーク）

※リユースできない状態の瓶は対象外

1本=1ポイント

道内の酒蔵商品は2ポイント

36ポイントで男山と交換

回収場所は男山酒造り資料館1階
初回の回収時にメンバーズカードを
お渡しします。

詳細は、
男山公式サイトへ



1.男山の取組 昨年報告からその後の状況

みんなのマイボトル メンバー制度

●新ルールの設定

貯まったポイントカード2枚（72ポイント）で一升びんと交換

●回収びんの本数

2021年7月より開始し、現時点で約1.7万本。そのうち、一升びんは約1.2万本

①茶色一升びんが最も多く、②茶色四合びん、③緑一升びん、④緑四合びんの順

●一升びんの回収本数

2021年7月～12月	3342本	2022年7月～12月	7324本
-------------	-------	-------------	-------

●びんを回収して良かった点

- ・市場でリユースびんが集まりにくく、回収びんの価格も高騰しているため、直接回収できるメリットは大きい。
- ・環境にやさしい酒造りを目指しており、対外からの反応はよい。

●最近、Rびん（四合びん）を使うメーカーが少なくなり、残念に感じている。

2.二階堂酒造・長松商店・日出町の取組

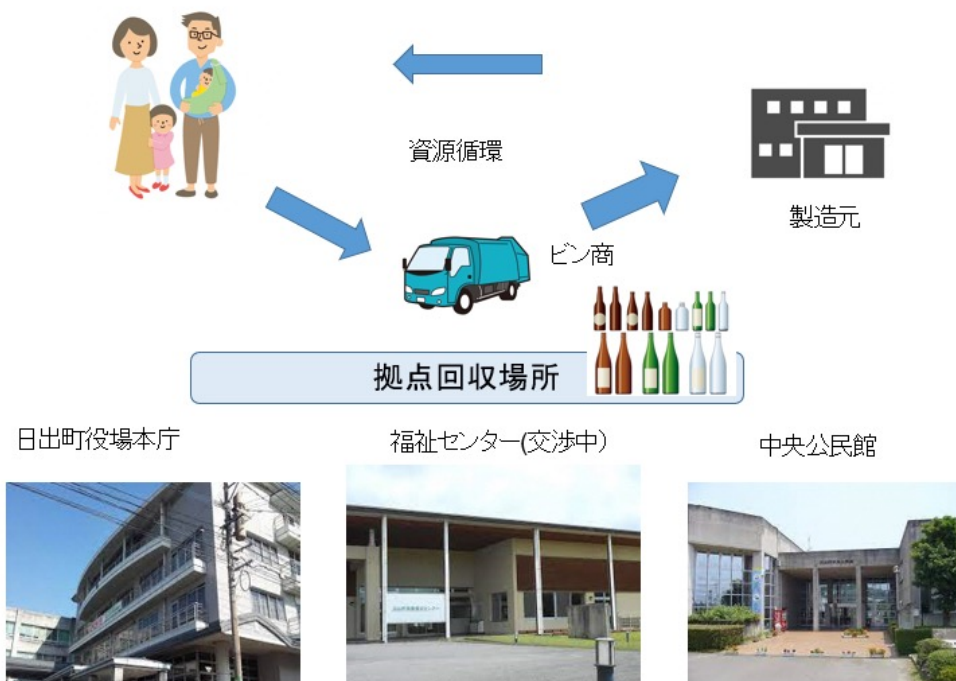
●二階堂酒造・長松商店・日出町が連携して、びんの拠点回収を2022年4月から開始。

●回収場所は現在3ヶ所（2022年11月に回収ステーション設置所が1ヶ所増加）

●対象びんの種類：一升びん（1.8l）と五号びん（900ml）で、色指定はない。

●回収本数（2022年4月～2023年1月末）

1.8L	1,545 本	720ml	127 本
900ml	155 本	その他	111 本



「日出町」発表資料より

2.二階堂酒造・長松商店・日出町の取組

●開始して良かった点

- ・酒びんをいつでも持ち込める場所ができたことを町民に喜んでもらえた
- ・思ったよりも多くのびん、特に一升びんが集まっている
- ・比較的品質の良いびんが集められる

●課題

- ・一升びんが圧倒的に多く、五号びんが思ったより少ない
⇒五号びん（900ml）がリユースびんになることが消費者に認知されていない
- ・四号びん（720ml）を出す人が多い
⇒五号びんと四号びんの違いがわからない消費者が多い
- ・ビールびんやワインびんを出す人がいる

●今後の予定

- ・回収拠点をさらに増やし、日出町をモデルケースにして、大分県その他の自治体にも同様の回収システムを広げていきたい
- ・五号びんの利用を酒造メーカーへ促し、五号びんがリユースびんであることを社会にもっと普及していきたい

酒びんの回収

4月より酒びんのリユースを進めるため、酒びんの回収ステーションを役場庁舎及び中央公民館に設置します。
※販売店や地域の集団回収での回収も行っています。

回収品目 一升びん、五合びん
※ビール瓶やジュースの瓶等は対象外です。

(お願い)

- ・びんの中をよく洗って乾かしてから出してください。
- ・割れたびんはもやさないごみの日に出してください。
- ・コンテナにはびんのみを入れ、袋は持ち帰ってください。
- ・中身が残った状態で出さないでください。



周知啓発ツールの作成

第1章

1.8ℓびんの現状

1. 100年以上の歴史を持つ1.8ℓびん
2. 1.8ℓびんの特性
3. 出荷量と回収率の推移
4. 空きびんの地域別需要量と発生量
5. 1.8ℓびんについての「常識」の変化

第2章

1.8ℓびんの回収と再使用の仕組み

1. 1.8ℓびんの回収ルート
2. 空きびんの回収を担うびん商
3. 空きびんの洗浄（洗びん）
4. 1.8ℓびんの循環を支えるP箱
5. 酒造メーカーでの回収びん使用の実態

第3章

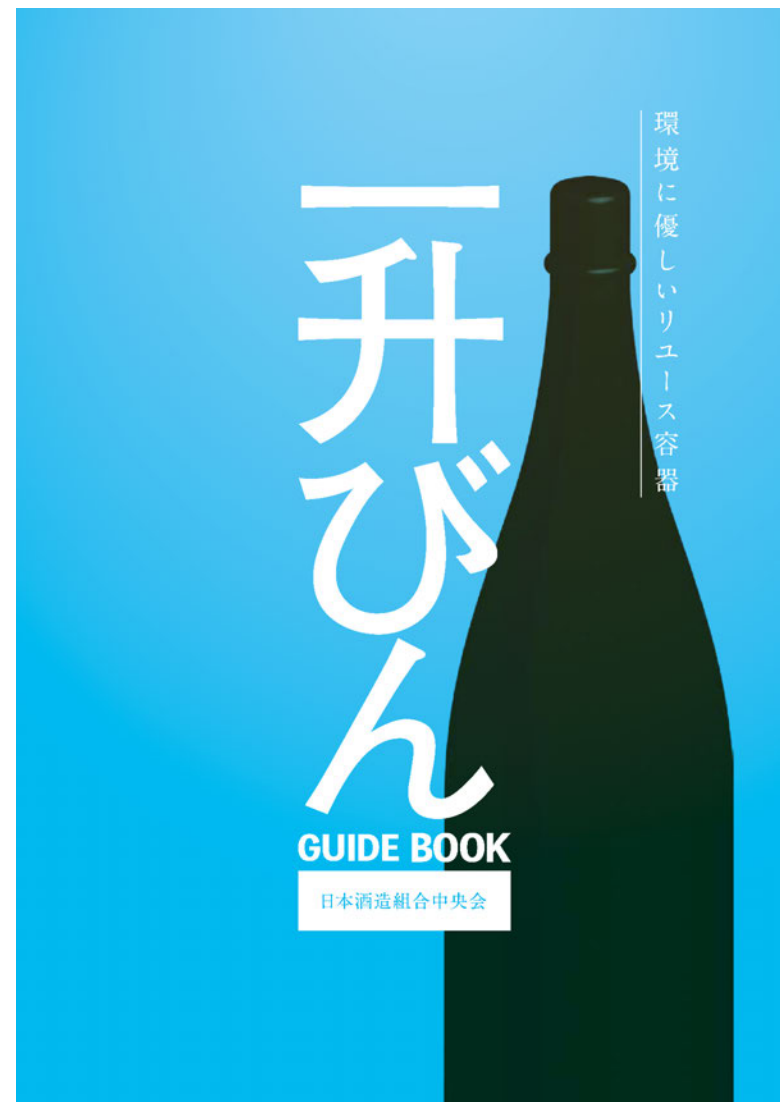
自治体回収の実態と工夫

1. 自治体による分別回収の実態
2. 自治体回収のタイプと工夫
3. 質の良い1.8ℓびんを回収するための工夫

第4章

1.8ℓびんの環境配慮と今後の課題

1. 回収びんの品質について
2. 酒造メーカーに求められる「環境配慮」
3. 循環型社会のインフラとしての1.8ℓびん
4. これからの課題



調査結果をまとめたガイドブックの作成



消費者向け啓発動画の作成

(配信先) 國酒デジタルミュージアム-國酒の文化

<https://kokushu-museum.com/kokushu-culture/c-issou-bin/>

